

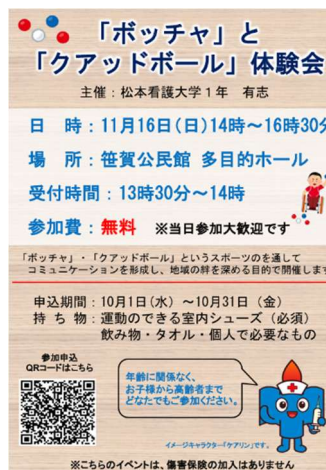
令和 7 年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生生活活動支援事業活動報告書

団体等名	松本看護大学未来の英雄たち	
代表学生	所属大学名・学部・学年	松本看護大学・看護学部・1年
	ふりがな氏名	たかつき ゆうすけ 高附 佑輔
教職員責任者	所属大学名・職名・ふりがな氏名	なかがわ ふさこ 松本看護大学・助手・中川 布沙子

活動名	つなぐ～地域交流の輪～（ボッチャ・クアッドボール編）
実施時期	令和 7 年 10 月 1 日（水）～令和 7 年 12 月 31 日（水）
実施場所	松本市笹賀公民館 多目的ホール
活動内容	<p>私たちは、競技運営スタッフとして、地域の方々を対象とし、「ボッチャ」と「クアッドボール」をベースとするスポーツ交流活動を実施した。本活動の目的は、子どもから高齢者の方までの幅広い年齢層の方、そして、障害の有無にかかわらず、誰もが気軽に安心して参加できるようルールの見直しや競技を楽しめる雰囲気(服装)など環境づくりに創意を凝らした。</p> <p>【準備期間の活動】</p> <p>スポーツ交流活動の運営のための準備として、ボッチャについては、長野県内でボッチャの活動をしている方を指導者に迎え、ゲーム方法や審判の進め方について指導や助言をいただいた。講習会および練習会を9月から10月にかけて、計3回行った。また、開催前のスタッフ内練習会を11月に4回行った。クアッドボールについては、「誰もが安心して参加できる」ための配慮事項を大学教職員からアドバイスを受けながら検討を重ね、オリジナルルールとしながらも楽しめるよう工夫した。</p> <p>広報活動は、9月～10月に「笹賀地区だより」に掲載(2回)し、10月に学内・学外へのポスターの掲示およびちらしを配布した。10月の大学学園祭においても受付にてちらしを配布した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>ゲームの練習会・打ち合わせ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>広報活動(ポスター掲示)</p> </div> </div>



チラシ



ポスター

【イベントの実施】

日 時: 2025年11月16日(日) 14:00~16:15(受付 13:00~)

会 場: 笹賀公民館 多目的ホール(松本市笹賀2929)

参加者: 地域の方々12名(予約3名、当日参加9名)、学生15名、教員2名

主な流れ: 開会式、準備体操、競技説明、クアッドボール(約30分)、ポッチャ(約75分)、閉会式



準備体操(ラジオ体操)は、高齢者にも配慮し、立位形式・着座形式の双方で同時実施した。

競技説明では、学生がデモンストレーションを行いながら、一連の流れの説明を行った。クアッドボールに関しては、本番前にグループ別に一度練習をしていただき、動きの流れを確認していただいてからゲームを実施した。

クアッドボールでは、オリジナルルール(※下記参照)にそって、参加者と学生が混合チームとなるようにし、1チーム4名構成となるようグループ分けをした。車いす利用者などにも配慮したオリジナルルールにすることで、多様な参加者が同じフィールドで協力し合える形で実施した。

※クアッドボールのルール:参加者の安全性に配慮するために、本来のゲームルールと異なり、「走らない」こととした。また、対抗戦ではなく、1チームずつ障害役の学生スタッフ(ディフェンスをする学生)をよけながらゴールを目指して進むものとした。また、本来のクアッドボールでは棒にまたがるが、参加者は棒を使用せず、ディフェンスをする学生スタッフが棒を片腕に挟んで片手しか使用できない制限を設けることとした。チーム4名は、2つのボールを渡し合いながら3つのゴール(赤・青・白)を目指して進む。途中でディフェンスをしようとする人(学生:中央2人、ゴール前2人)がいるので、それを上手によけてゴールを目指す。



ポッチャについては、あらかじめ参加者に競技経験の有無を確認し、初心者エリアと経験者エリアに分けてチーム編成を行った。年齢や身体状況に関係なく楽しめる競技特性を活かし、初めて参加する人でも理解しやすいようルール説明やサポートを行いながら実施した。



当日は、開催準備、駐車場案内、受付、進行、参加者への声掛けや補助を行った。ゲームごとの世代や立場を超えた交流が自然に生まれるようチーム分けに配慮した。スポーツを通じて参加者同士が協力し、応援し合う場面が多く見られ、和やかな雰囲気の中で活動を行うことができた。



活動の成果 と今後の課題	活動の成果
	<p>本活動では、「ボッチャ」および「クアッドボール」を通じて、子どもから高齢者まで、また障がいの有無にかかわらず参加者が同じ場で交流する機会を創出することができた。競技を通して自然に学生のみならず参加者同士でも会話や協力が生まれ、世代や立場を超えたつながりが形成された。</p> <p>スポーツを楽しみながら互いに支え合う経験をすることで、参加者の間に助け合いの意識が育まれ、地域コミュニティの一体感の向上につながった。また、運動不足の解消や気分転換の機会とり、参加者から「よい運動になった」という声が多数あり、健康維持や暮らしやすさの向上にも一定の効果が見られた。</p> <p>さらに、学生スタッフが企画・運営に主体的に関わったことで、地域の方々との交流を通じた実践的な学びが得られた。地域との継続的な関係づくりの第一歩となり、災害時などにおける助け合いにつながる基盤づくりにもなったのだと考えられる。</p>
	今後の課題
	<p>一方で、より多くの地域の方々に参加してもらおうための広報方法や気軽に参加しやすい工夫が今後の課題として挙げられる。特に、初めて参加する人やスポーツに不安を感じる人への事前説明やサポート体制のさらなる充実が必要であると思った。また、参加者の年齢や身体状況に応じたルールの工夫や進行方法について、より細やかな配慮が求められ、学生スタッフの運営経験にも差があるため、事前準備や役割分担や情報交換を円滑にし、明確にすることが動きの流れを意識して取り組むことで、全体のバランスが整い、より安定させることにつながると感じた。</p> <p>参加された地域の方々からは、活動内容自体には満足している一方で、参加前の情報が分かりにくかったという意見も見られた。特に、初めて参加する人やスポーツに不安を感じている人からは、活動の流れや難易度、当日の持ち物などについて、事前にもう少し詳しい説明がほしかったという声もあった。また、情報提供の方法に課題が残った。これらの点から、地域の方々の立場に立った分かりやすい広報や事前説明の充実が今後の改善点として挙げられる。</p>

※記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

※活動内容が分かる資料や写真等があれば、添付してください。添付書類を含む活動報告書一式は、A4判4枚以内にまとめてください。

※本報告書と併せて、活動内容報告動画及び支出明細書（領収書添付）を提出してください。

※提出された活動報告書等一式は、各関係機関等に公表するとともに、高等教育コンソーシアム信州のHPへの掲載を予定しています。他人が写った写真等を許可なく使用しないなど、著作権や肖像権に配慮してください。

※申請内容から変更があった場合は、経緯を記入してください。